

以下の英文を読んで、設問に答えなさい。

### How Reliable Is Your Memory?

Many people believe that their memories are accurate records of past events. However, research shows that memory is not as reliable as we think. In fact, it can change over time without us noticing.

For example, imagine two people who saw the same accident. Later, when they talk about it, their stories may be different. One person may remember the car as red, while the other insists it was blue. Both of them may feel completely confident, even though at least one of them must be wrong.

This happens because memory is not simply stored and kept unchanged. Each time we remember something, we actually rebuild the memory. During this process, our feelings, beliefs, and even other people's opinions can affect what we remember. As a result, small details can be added, changed, or even lost.

① Another important point is that confidence does not always mean accuracy. People often trust memories that feel clear and strong. However, studies suggest that even vivid memories can include errors. In some cases, people remember events that never happened at all.

Understanding the limits of memory is important in daily life. ② It can help us avoid unnecessary arguments and be more careful when we judge others. Instead of believing that our memory is always correct, we should remember that it is only one possible version of the past.

問1. What does the passage mainly suggest about memory?

- a. Memory always keeps information exactly as it was.
- b. Memory can change each time we remember something.
- c. Memory becomes more accurate over time.
- d. Memory is only affected by what we see.

問2. Why can two people remember the same event differently?

- a. They did not see the event clearly.
- b. They forgot the event completely.
- c. Their memories are influenced by personal factors.
- d. They intentionally change their stories.

問3. What does the passage say about confident memories?

- a. They are usually correct.
- b. They are always reliable if they feel clear.
- c. They can still include mistakes.
- d. They are based only on facts.

問4. 下線部① Another important point は何を指すか。

- a. A different important point from the idea that memory is rebuilt.
- b. The idea that memory is simply stored and kept unchanged.
- c. The example of the accident.
- d. People's feelings.

問5. 下線部② it は何を指すか。

- a. Memory itself.
- b. Research findings.
- c. Other people's opinions.
- d. Understanding the limits of memory.

## 解答

1. b 2. c 3. c 4. a 5. d

## 日本語訳

### あなたの記憶はどれくらい信頼できるのか

多くの人は、自分の記憶は過去の出来事を正確に記録したものだと考えている。しかし、研究によれば、記憶は私たちが思っているほど信頼できるものではない。実際、私たちが気づかないうちに、時間とともに変化してしまうこともある。

例えば、同じ事故を目撃した二人を想像してみよう。その後、その出来事について話すと、二人の話は食い違うことがある。一方は車は赤だったと記憶しているかもしれないし、もう一方は青だったと強く主張するかもしれない。少なくともどちらかは間違っているはずなのに、両者ともまったく自信を持っていることがある。

このようなことが起こるのは、記憶が単に保存されてそのまま保たれるものではないからである。私たちは何かを思い出すたびに、その記憶を実際には「作り直している」。その過程で、私たちの感情や信念、さらには他人の意見までもが、思い出す内容に影響を与えることがある。その結果、細かな情報が付け加えられたり、変えられたり、あるいは失われたりする。

もう一つ重要な点は、「自信があること」と「正確であること」は必ずしも一致しないということである。人ははっきりしていて強く感じられる記憶を信頼しがちである。しかし、研究によれば、鮮明な記憶であっても誤りを含んでいることがある。場合によっては、実際には起こっていない出来事を覚えていることさえある。

記憶の限界を理解することは、日常生活において重要である。それによって、無用な言い争いを避けたり、他人を判断する際により慎重になったりすることができる。自分の記憶が常に正しいと信じるのではなく、それは過去の出来事についての一つの見方にすぎないのだと理解するべきである。

## 解説

※解説は理解のポイントを中心に簡潔にまとめています。  
本番で通用する思考プロセスは有料版で解説しています。

**問1.** 本文は記憶について主に何を述べているか。 **正解. b**

b. 記憶は思い出すたびに変わることがある。

第3段落「Each time we remember something, we actually rebuild the memory」（思い出すたびに再構築している）＝変化する

その他

a. 記憶は常に出来事をそのまま正確に保つ。→ 本文は真逆（memory is not as reliable）

c. 記憶は時間とともにより正確になる。→ 「時間で正確になる」とは一切書いていない

d. 記憶は見たことだけに影響される。→ 感情・他人の意見など複数要因が影響すると書いてある

**問2.** なぜ同じ出来事でも二人の記憶が異なることがあるのか。 **正解. c**

c. 記憶が個人的な要因の影響を受けるから。

第3段落「our feelings, beliefs, and even other people's opinions can affect what we remember」（感情や信念、さらには他人の意見までも、影響を与える）

その他

a. 出来事をはっきり見ていなかったから。→ 視覚の問題には触れていない

b. 出来事を完全に忘れてしまったから。→ 「覚えている内容が違う」のであって、忘れてはいない

d. 意図的に話の内容を変えているから。→ 意図的ではなく「無意識に変わる」と説明されている

問3. 自信のある記憶について、本文は何と述べているか。 正解. c

c. 誤りを含んでいることもある。

第4段落「confidence does not always mean accuracy」 「even vivid memories can include errors」 (自信がある = 正確である、ではない) (鮮明な記憶であっても誤りを含んでいることがある) = 自信があっても間違ふ

その他

a. たいてい正しいものである。→ 正確とは限らないと明言

b. はっきりしていると感じられるなら、それらは常に信頼できる。→ 鮮明であっても誤りを含む

d. 事実だけに基づいている。→ 感情や他人の影響が入るため誤り

問4. 下線部① Another important point は何を指すか。 正解. a

a. 記憶が再構築されるという考えとは別の重要な点。

第3段落「we actually rebuild the memory」 (記憶は再構築される)

第4段落「Another important point is that ~」 (もう一つ重要な点は~) = 再構築とは「別の重要な点」 = 自信があることと正確さは一致しない、という重要な点

その他

b. 記憶は保存されるという考え。→ 本文はそれを否定

c. 事故の例。→ 第2段落の具体例であり「point」ではない

d. 人々の感情。→ 影響要因の一つであって主張ではない

問5. 下線部② it は何を指すか。 正解. d

d. 記憶の限界を理解すること。

直前の文「Understanding the limits of memory is important in daily life.」（記憶の限界を理解することは、日常生活において重要である）

It = 直前内容の言い換え

その他

a. 記憶そのもの → 記憶自体ではなく「理解すること」

b. 研究結果 → 研究には触れているが、直前主語ではない

c. 他人の意見 → 本文中の要素の一部にすぎない

## 単語

reliable : 信頼できる      accurate : 正確な      over time : 時間とともに

insist : 主張する      completely : 完全に      confident : 自信のある      store : 保存する

rebuild : 作り直す      belief : 信念 / 思い込み      affect : 影響を与える

detail : 細部 / 詳細      add : 加える      vivid : 鮮明な      include : 含む

avoid : 避ける      argument : 議論 / 言い争い      correct : 正しい

## 文法ポイント

- without Ving : ～することなく  
without us noticing = 私たちが気づくことなく
- Both of them may feel completely confident, even though at least one of them must be wrong.  
「彼らの両方がまったく自信を持っていることがある」「少なくとも彼らの中の一方は間違っているはずだけれども」  
自然訳  
(少なくともどちらかは間違っているはずなのに、両者ともまったく自信を持っていることがある)  
even though : ～なのに / ～だけれども
- what S V : ～すること / するもの  
what we remember : 私たちが覚えていること
- As a result, small details can be added, changed, or even lost.  
small details can be added,  
(small details can be) changed,  
or (small details can be) even lost  
(並列・省略)